



税金って不思議

大田区立安方中学校 三年 北村 結心

最近、ニュースで政治家が「給付金を出します」と話しているのを見ました。そのとき、私はふとそれって私たちが払った税金じゃないの？と思いました。まるで自分のお金のように配っているように見えて、ちよつと偉そうだな、と感じたのです。それから税金って一体何なんだろうと気になって、自分なりに考えてみるようになりました。

税金とは、国や社会を支えるために、私たち国民が出し合っているお金です。消費税のようにお店で買い物をするときに払うものもあれば、働いた人が収入から支払う所得税、地域で払う住民税など、いろいろな種類があります。私たちの生活の中で、税金はとても大切な役割を果たしています。たとえば、私たちが通う学校の建物や教科書、先生方のお給料の一部にも税金が使われています。道路や信号、ごみの収集、消防や警察など、「当たり前」に思っていたものは、実は税金によって支えられています。

親にこんな話を聞きました。「小さいころは、保育料も学童代も全部自分たちで払っていたんだよ」と。けれど最近では、保育料が無料になったり、学校の給食費が免除になったりすることも増えてきています。つ

いこの前も、今月から給食費が無料になったよと聞いて、あれ？それってもしかして税金でまかなわれているの？と気づきました。今まで気づかなかったけれど、私はすでに税金の恩恵を受けていたのだと実感しました。

一方で、「大きな政府」と「小さな政府」という考え方も知りました。大きな政府は、税金を多く集めて、医療や教育などのサービスを国がたくさん用意してくれます。反対に、小さな政府では、税金は少なくなります。どちらがいいかは、今の私にはまだわかりません。でも、それぞれにメリットや課題があることを知り、「税金はどう使うのが本当にいいのか」を考えることが大切だと思いました。

税金は、「ただ取られるもの」ではなく、「みんなで支え合うためのお金」だと思います。そのお金をどう使うかは、私たち国民が選挙などで選んだ政治家たちが決めていきます。だからこそ、政治に関心を持つことも、これからの自分にとって大切なことだと思います。

将来、私が働いて税金を納めるようになったとき、「このお金がどう使われるのか」「本当に必要なところに届いているのか」を考えられる大人になりたいです。そして、今の自分にもできることとして、もっと社会のことに関心を持ち、身の回りのあたりの前を見直していこうと思います。